



三 岩田さんは、どのような目的で「下書き①」に続けて「下書き②」の「プラスチックの3R週間チャレンジ表」を書いていきますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 3Rの中で、どのような行動をしている人が多いのかを明らかにするため。
- 2 3Rをもとにして、学級のみんなが取り組んだことを紹介するため。
- 3 3Rを家族で分担し、自分の役割を明確にしようとするため。
- 4 3Rを意識して、自分のできることを考え実行しようとするため。

四 岩田さんは、「下書き①」と「下書き②」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた

部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

- (1) 部アを漢字でていねいに書きましょう。

記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くないえきょうをあたえていることにアひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界の

ア

※解答は、解答用紙に書きましょう。

- (2) 部イとウを書き直したものととして適切なものを、次の1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えをイあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、

- 1 改らため
- 2 改ため
- 3 改め

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをウたしかめましょう。

- 1 確しかめ
- 2 確かめ
- 3 確め

五 岩田さんは「下書き①」で、Aの文の……部と部とがうまくつながっていないことに気がつき、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、□の中に続きを書きましょう。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

大切なことは、□。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

## 1. 出題の趣旨

目的や意図に応じ、文章全体の構成や表現を工夫して提案する文章を書くことができるかどうかをみる。

誰かに協力を求めたいときに、提案する文章を書いて伝えることがある。提案する文章は、提案内容に基づいて実際に行動に移してもらうことが目的であり、読み手に提案を受け入れてもらうことができるように書く必要がある。そのためには、提案理由が明確であること、提案内容が実現可能で具体的なものであること、提案を行動に移したときにどのような利点があるのかを明示することなどが大切である。また、目的や意図に応じて構成を考えて書いたり、説得力を増すために信頼性の高い情報を用いて書いたり、図表を用いて分かりやすくまとめて示したりするなど、書き方を工夫することも大切である。

本問では、生活の中で気になっているプラスチックごみの問題について調べ、学級の友達にプラスチックごみを減らす行動をしようとして提案する文章を書く場面を設定した。岩田さんは、プラスチックごみが生き物に影響を与えていることに驚き、環境省のホームページや「プラスチックのひみつ」という本を調べ、根拠を示しながらプラスチックごみの問題の深刻さについて説明している。加えて、プラスチックごみを減らすための具体的な行動の例示もしている。ここでは、構成を工夫すること、事実と意見とを書き分けること、目的や意図に応じて表を用いて書くことが求められる。

## 2. 調査問題の活用にあたって

目的や意図に応じて、文章全体の構成や展開を考えたり、事実と感想、意見とを区別して書いたりすることについて、新学習指導要領に基づいて本問の趣旨を生かした授業を行う際の例として、次のような指導事例を紹介する。

### 【授業アイデア例】

<p>「健康な生活に向けた取り組みを提案する文章を書こう」 ～目的や意図に応じ、文章全体の構成を考えたり、 事実と意見とを区別したりして書く～</p>	<p>〈実施対象学年〉 第5・6学年</p>
<p>【指導のねらい】 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるようにする。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B（1）イ</p> <p>目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B（1）ウ</p>	

〈学習の流れ〉

	主な学習活動	指導上の留意点
①	○ 健康な生活について話し合い、提案する文章を書くという学習の見通しをもつ。	■ 本問の岩田さんの文章を参考に、学級の友達に向けて、健康な生活に向けた取り組みを提案する文章を書くという、目的や意図を明確にすることができるようにする。
②	○ 自分が提案するための題材を決める。 ・睡眠について ・運動について ・感染症予防について など	■ ①で話し合ったことを基に、現状の問題点やその解決策の中から、必要性や実現性、具体性のあるものを選び、提案するための題材を決めることができるようにする。
③	○ 提案する文章を書くための材料を集める。	■ 同じ題材で調べる児童同士で、協力して材料を集めることができるようにする。 ■ 本や新聞、インターネットで調べたり、インタビューをしたりして情報収集を行うことができるようにする。(保健や総合的な学習の時間と関連付け、情報収集の充実を図ることも考えられる。)
④	○ 集めた材料を整理し、書くために必要な材料を選んで、具体的な提案の内容を考える。 ・早寝早起きを提案する ・休み時間の外遊びを提案する ・こまめな手洗いを提案する など	■ 題材について集めた材料をグループで共有し、現状の問題点やその解決策を出し合うことで、提案する具体的な内容(提案したい行動変容)を考えることができるようにする。また、必要に応じて追加の情報収集を行うことができるようにする。
⑤	○ 岩田さんの文章を通して、提案する文章について話し合う。 (1)構成について (2)書き方について (P. 20～P. 22 参照)	■ 本問の岩田さんの文章全体から、構成や書き方について児童が気付いたことを整理するなどして、提案する文章の特徴や書く際に大切なことを捉えることができるようにする。
⑥	○ 構成表を作成する。	■ ⑤の学習を生かして、効果的な構成や書き方を工夫することができるようにする。
⑦	○ 提案する文章の下書きをする。 (P. 23 参照)	■ 提案する目的や意図に応じて、提案の理由や提案の内容が明確に伝わる文章になっているかどうかを、互いに確かめることができるようにする。
⑧	○ グループで推敲し合い、清書をする。	■ 提案する文章の特徴を踏まえて書くことの効果を実感させ、本学習で身に付いた力や、今後の学習などに生かしたいことについて振り返ることができるようにする。
⑨	○ 完成した提案する文章を読み合い、互いのよさについて共有し、学習を振り返る。	

⑤ 岩田さんの文章を通して、提案する文章について話し合う。

(1) 構成について

〈岩田さんの文章構成〉

【下書き①】

提案します わたしたちにできる「プラスチックの3R週間」

■ 知っていますか プラスチックごみの問題

提案の理由

■ みんなで減らそう プラスチックごみ

提案の内容  
(提案の概要)

【下書き②】

■ やってみよう プラスチックの3R

提案の内容  
(具体的な行動例)

(岩田さんの文章構成の「提案の理由」の部分)

提案の理由

- 知っていますか プラスチックごみの問題
  - 身近な具体例
    - ・身近なプラスチック製品の例
  - プラスチックごみの現状・問題点
    - ・生き物に深くないきょうをあたえている
    - 海のカジラや森のサルへのいきょう
    - ・プラスチック容器の生産量は増えている
    - 1964年は1500万トン
    - 2014年には3億1100万トン
    - (かん境省のホームページに示されている)
  - プラスチックの特ちょう
    - ・プラスチックは自然には分解されずに残ってしまう
    - (「プラスチックのひみつ」という本に書かれている)

岩田さんは、どのような構成で書いていますか。



Cさん

最初に「提案の理由」、次に「提案の内容」を書いています。「提案の内容」には、「プラスチックの3R週間」をしようという提案を書いてから、その具体的な行動例を示しています。大まかなことを書いてから、詳しいことを書くという工夫をすることで、読み手が理解しやすくなると思います。



Fさん

「提案の理由」の中には、プラスチックごみの「現状・問題点」を書いています。そうすることでプラスチックごみを減らすという提案に納得してもらえようとしていると思います。



Fさん

これを最初に書くと、プラスチックについてよく知らない人も、プラスチック製品が便利で身近にあるものだと知ってもらうことができ、分かりやすくなるからではないかと思います。



教師



Eさん

Fさんが言ったとおり、提案しようとすることについての「現状・問題点」はすごく大切だと思うけれど、なぜ、書き出しに「身近な具体例」を書いているのかがよく分かりません。



自分にとって身近なものが問題になっているということが最初に分かると、読み手も自分のこととして捉えて読み進めることができ、提案を受け入れてもらいやすくなるという効果もあると思います。



書き出しには、読み手に提案しようとすることについての興味や関心をもって読んでもらえるようなことを書くとよいと思います。例えば、書き手の経験を書いて興味を引くと、読み手にも自分の経験を思い出しながら文章を読んでもらえるという効果があると思います。



読み手がどういう人なのかを考えたり、どのような効果をねらうのかを考えたりして、文章全体の構成や書き出しの内容を工夫することが大切なんですね。自分が書くときにも考えてみたいです。



どのように書くと、提案を受け入れて行動に移してもらえるかを意識して構成を考えることが重要ですね。

### ポイント

構成を考える際には、それぞれの段落にどのようなことを書けばよいのか、どのように配置すると効果的に伝わるのかを考えることが大切である。

提案する文章では、読み手に提案を受け入れてもらえるように書くことが最も重要であり、そのための構成を考えて書く必要がある。その一つの例として、読み手の知識や経験などを具体的に想定し、それに応じて書き出しの内容を考えることが挙げられる。

## (2) 書き方について

〈岩田さんの文章〉

提案します わたしたちにできる「プラスチックの3R週間」

### ■ 知っていますか プラスチックごみの問題

わたしたちの周りには多くのプラスチック製品があります。例えば、ペットボトル、ストロー、レジぶくろなどです。プラスチック製品のおかげで、わたしたちは便利な生活を送ることができています。

しかし、これらのプラスチック製品がごみになると、大きな問題になります。最近の新聞には、海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からペットボトルなどが発見されたという記事や、森のサルがプラスチックごみを食べてしまったという記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くなえいきょうをあたえていることに非常におどろきました。かん境省のホームページによると、世界のプラスチック容器の生産量は、1964年は1500万トンだったのが、2014年には3億1100万トンになっているそうです。以前に比べて増えていることが分かります。

プラスチックは時間がたつと分解されてなくなるだろうと考えている人がいるかもしれませんが、けれども、「プラスチックのひみつ」という本によると、プラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されずに、ずっと残ってしまうそうです。

岩田さんの文章の書き方について何か気付くことはありますか。



教師



Aさん

現状や問題点など、事実が多く書かれています。新聞記事や環境省のホームページ、本に書かれていた事実には、とても納得できます。



Cさん

私もそう思います。「プラスチックごみを減らしたい」という考えを支える事実を挙げているので、説得力が増すのだと思います。そのためにも、事実と自分の考えとを区別して正確に書かないといけないと思います。



Fさん

「かん境省のホームページ」や「プラスチックのひみつ」など、出典が正確に書いてあります。そのように書くと、本や資料から調べた事実だということがはっきりと伝わって、読み手にとって分かりやすくなると思います。それに、出典があることで、信頼性が高まると思います。



Dさん

そのとおりだと思います。書き方の工夫では、環境省のホームページや、「プラスチックのひみつ」の本に書かれていたということが分かるように、「～によると」という言葉を使ったり、「～そうです。」という文末で書いたりしています。



Eさん

本や資料の言葉を引用するときには、「」を使って書くことを習ったけれど、これも事実と自分の考えとを区別して読み手にとって分かりやすくするためのものなのですね。

事実と自分の感想、意見などを区別して書くことで、読み手に分かりやすく伝わるだけでなく、文章全体の信頼性や説得力が増すことになりますね。また、本や資料に書かれた内容を使って文章を書くときに、出典や資料名を書いたり、「」を使ったりすることは、著作権を守るために必要なことですから、書き手はいつも注意しなければいけません。それに、出典が正しく書かれていれば、読み手は、その本や資料の内容を確認することができますね。



教師

**ポイント**

事実と感想、意見とを区別して書くことができるようにするために、区別して書く理由や効果について、児童自身が考えたり、理解したりする学習場面を設定することが考えられる。また、事実と感想、意見とを明確に区別して書くためには、文末表現などに注意することが重要である。「～によると」「～を見ると」「～が分かります。」「～だそうです。」などの言葉の使い方や文末の書き方について、具体的に理解することが大切である。

⑦ 提案する文章の下書きをする。



Aさん

私たちの学級では、寝る時間の遅い人が多いから「早ね早起き運動」に取り組むという提案を受け入れてもらえるように書きたいな。

(前時に作成したAさんの文章構成の一部)

提案の理由

- 自分の経験
  - ・ねる時間がおそくなってしまふ
  - ・体調が悪くなってしまったことがあった
- 現状・問題点
  - ・学級では、30人中22人が夜10時を過ぎてねている(アンケート結果)
  - ・全国の6年生の半数以上が夜10時を過ぎてねている(パンフレットによる)
- 健康との関係
  - ・よい生活のリズムをつくる
  - ・成長に大事なすいみんを十分にとるためには夜10時までねた方がよい(保健室の先生の話)



Aさん

岩田さんの文章について話し合ったときにBさんが言ったとおり、書き出しに私の経験を書くという構成にしたよ。読む人にも自分の経験を思い出しながらかいてもらいたいな。そのために、みんなに問いかける文から書き出そう。

(Aさんの文章)

みなさんは、毎日、何時にねていますか。わたしは、最近ねる前についついゲームに夢中になることが多く、気がつくとも11時を過ぎてしまうこともあります。先日、学校でとても頭が痛くなり、その後の授業に全く集中することができませんでした。すいみん不足が原因だと思います。

何人かの友達にねる時間を聞いてみたら、ほとんどが夜10時を過ぎてねているとのことでした。そこで、学級全員にアンケートをしてみました。すると、30人中22人が、毎日夜10時を過ぎてねていることが分かりました。文部科学省が出している「早ね早おき朝ごはん」というパンフレットによると、全国の6年生の半数以上が、夜10時よりおそくねているそうです。こんなに多くの人が、夜ふかしをしていることにおどろきました。

早ね早起きがなぜ大切なのかは、保健の授業で、よい生活のリズムをつくるためだと学習しました。保健室の先生の話によると、すいみんは私たちの成長にとっても大切であり、夜10時までねた方がよいそうです。

自分の経験

現状・問題点

健康との関係



Aさん

「現状・問題点」のところは、事実を詳しく書こう。

Dさんが言ったとおり、事実を書くときには、文末に注意して自分の意見とは区別して書かないといけな。

「提案の理由」で書いた事実を基に自分の考えが伝わるように、この後「提案の内容」を書いていこう。

【活用のポイント】

- 提案する文章を書く学習では、自分が提案したいことや自分の考えを明確にして書くことだけでなく、読み手が考えを理解できるようにすることにも注意する必要がある。読み手の側に立ち、分かりやすく、効果的な構成であるかという観点で文章を書くことが大切である。
- 資料を基にして書く際に、出典を明記し、どの本や資料に書かれた事実であるのかという根拠を示すことは、著作権を尊重し、保護しようとする意識を高めていくことにもつながっていく。引用して書くことと関連させて学習することも効果的である。

3. 出典等 【授業アイデア例】(Aさんの文章)は、文部科学省ウェブページを参考にした。